

管理運営評価シート(令和5年度)

施設名称	むらかみ病児保育センター	評価対象年度	令和 5 年度
指定管理者名	学校法人北都健勝学園 社会福祉法人真心福祉会共同 事業体 代表法人 学校法人北都健勝学園	所管課	こども 課
指定期間	令和2年12月1日～令和7年3月31日(4年4カ月間)	評価者(課長)	山田 昌実

1 令和5年度の実績

(1)事業実績

利用実績	<定員6名> 利用者登録数 253名 総利用者数 700名 隔離室利用数 189名
サービス向上の 取組	研修会の実施及びインシデント防止のための意見交換等を定期的に行い、サービスの向上に努めた。 両法人の強みを活かして専門職の不足なく利用者の要望に対応した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (3年度)	前年度 (4年度)	当該年度 (5年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	15,022	15,263	15,806	46,091	基本協定額:	67,409	千円
	利用料金	0	0	0	0			
	事業収入	0	0	0	0			
	自主事業収入	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	収入合計 ①	15,022	15,263	15,806	46,091			
支出	人件費	9,328	10,380	11,350	31,058			
	福利厚生費	33	64	62	159			
	事務費	0	0	0	0			
	管理費	1,463	1,601	2,114	5,178			
	水道光熱費	336	245	410	991			
	修繕料	0	0	47	47			
	使用料・リース料	163	164	179	506			
	手数料・保険料	68	295	505	868			
	委託料	896	897	973	2,766			
	事業費	429	357	491	1,277			
	自主事業経費	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	支出合計 ②	11,253	12,402	14,017	37,672			
収支差額(①-②)		3,769	2,861	1,789	8,419			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	-	-	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	-	-	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	△	△	市内における専門職者の不足から、市外(近隣市町村)からの専門職者を採用
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)指定管理業務実施上の課題	利用定数6名に対して隔離の必要な複数の病名の病児の保育や0歳児、1歳児の利用が集中する場合、現員のスタッフだけでは休憩時間の確保等が難しい場合も発生する。一時預りの施設であることから、急性期から慢性期の病状で年齢層も広く、個々に合わせた保育を保持するためには臨機応変に対応できるよう職員の資質向上が必要である。
(2)課題解決に向けた取組	あらかわ病児保育センターとの情報共有を密にし、あらかわ病児保育センターの職員との応援体制を整えて日々の対応を行った。さらに、応援看護師の採用や同法人運営の看護学校からの看護師の応援体制を整備し、専門職スタッフが不足することなく運営を行った。
(3)その他	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 1 年度毎の登録届出書の記入が大変である。変更があったら再度届出るように変更してほしい。 2 月曜日の利用希望だと、土日連絡がつかず不安、ネット予約が出来ると良い。(2名) 以下の理由により対応困難 1 急激な成長時期の乳幼児はワクチン接種やアレルギー、熱性けいれん等、1年間の体調変化が大きい。 大切な子供さんを預かる上では、最新の情報でお預かりしたい。転居もありうる。村上市のルール通り、年度毎の登録が望ましい。 2 現時点では土日の対応は不可。 ネット予約については市で検討中と聞いている。 受入れ人数だけでなく、病名、隔離の有無、病状、年齢等により検討し、詳細に確認し受け入れる必要がある。

4 全体的な評価

(1)指定管理者の評価
(2)施設所管課の評価
(3)次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)